

## 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	
	（1）連結経営成績に関する定性的情報.....	2
	（2）連結財政状態に関する定性的情報.....	3
	（3）連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	
	（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3.	四半期連結財務諸表	
	（1）四半期連結貸借対照表.....	5
	（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
	（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
	（4）継続企業の前提に関する注記.....	10
	（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
4.	補足情報	
	平成25年3月期 第2四半期 個別収支 前年同期比較表.....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である電気事業では、節電のご協力をいただいた影響や、企業の生産活動が弱めの水準で推移していることなどから、総販売電力量は712億kWhと、前年同期に比べて3.7%減少しました。

収入面では、燃料価格の上昇による燃料費調整額の増加により電灯電力料収入が増加したものの、他の電力会社への電力融通に伴う収入が減少したことなどにより、電気事業営業収益は減少しました。一方、情報通信や総合エネルギーなどのその他事業営業収益が増加したことなどから、売上高は1,405,927百万円と、前年同期に比べて10,793百万円の増収となりました。

支出面では、徹底した経営効率化に努めてまいりましたが、原子力発電所の利用率の低下や燃料価格の上昇の影響により、火力燃料費や他社からの購入電力料が大幅に増加したことなどから、営業費用は1,561,426百万円と、前年同期に比べて217,466百万円の増加となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

#### 【連結経営成績】

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期(累計)	平成25年3月期 第2四半期(累計)	増 減	
売 上 高	1,395,133	1,405,927	10,793	0.8%
営 業 損 益	51,173	△155,498	△206,672	—
経 常 損 益	37,864	△171,947	△209,812	—
四半期純損益	20,492	△116,785	△137,277	—

#### 【販売電力量】

(単位：百万kWh)

		平成24年3月期 第2四半期(累計)	平成25年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比 (%)	
特定規模 需要以外 の需要	電 灯 計	24,000	23,073	96.1	
	電 力	低 圧	2,886	2,744	95.1
		そ の 他	388	369	95.0
		電 力 計	3,275	3,113	95.1
	電 灯 電 力 計	27,274	26,186	96.0	
特 定 規 模 需 要		46,629	45,017	96.5	
合 計		73,904	71,203	96.3	

(注)四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円)

科 目	平成 24 年 3 月期末	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期末	増 減	
資 産	7,521,352	7,495,387	△25,964	△0.3%
負 債	5,991,508	6,117,470	125,961	2.1%
(うち有利子負債)	(3,864,991)	(4,090,111)	(225,120)	(5.8%)
純 資 産	1,529,843	1,377,917	△151,926	△9.9%

自 己 資 本 比 率	20.1%	18.1%	△2.0%
-------------	-------	-------	-------

資産は、設備投資額が前年同期に比べて4,366百万円増加(+2.3%)の192,737百万円となり、減価償却費(183,446百万円)を上回ったものの、流動資産が減少したことなどから、前年度末に比べて25,964百万円減少(△0.3%)し、7,495,387百万円となりました。

負債は、火力燃料費や他社からの購入電力料の大幅な増加に対応して有利子負債が増加したことなどから、前年度末に比べて125,961百万円増加(+2.1%)し、6,117,470百万円となりました。

純資産は、四半期純損失(116,785百万円)の計上や期末配当金の支払いなどにより、前年度末に比べて151,926百万円減少(△9.9%)し、1,377,917百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて2.0%低下し18.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

停止中の原子力プラントの再稼動時期および販売電力量の見通しが未定であることなどから、一定の前提を置いて業績を想定することができないため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。